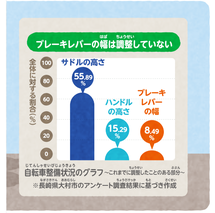
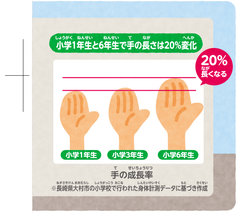
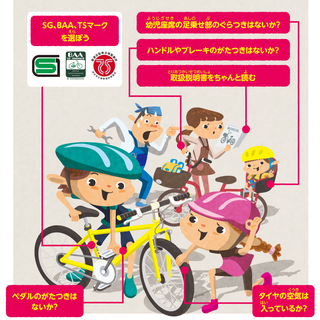
るためには、乗車前の点検が大切です。





自転車を点検しよう！



自転車保険（個人賠償責任保険）に入ろう！

小学生が自転車の運転中に歩行中の高齢者にぶつかって、9000万円を超える高額賠償も発生しています。万が一に備えて保険に入りましょう。

TSマークを知っていますか？

TSマークは道路交通法令に定められた大きさ、構造、性能などの基準に適合した安全な普通自転車であることの「しるし」です。自転車を購入したときや、点検・整備を受けたとき、点検・整備料を払って貼りつけてもらうことができます。自転車安全整備店で取扱っています。自分が怪我をしたときや、他の人に怪我をさせてしまっても、適用可能な保険がついてきます。

交通標識大図鑑

街の中にある道路交通標識を覚えて、正しく安全に走りましょう。

自転車及び歩行者の交通のために設けられた道路です。

自転車交通のために設けられた道路です。

道路標識等に指示された自転車および歩行者の横断場所です。

一時停止が必要です。

自転車は通行できません。

前方に踏切があります。

安全基準について

SGマーク
安全な製品として製品安全協会の基準に合格した製品のすべてに貼りつけされます。SGマーク付き製品の欠陥による万が一の人身事故に対して「対人賠償責任保険」がついています。

BAAマーク
一般社団法人 自転車協会が自転車業界の自主基準である「自転車安全基準」を制定し、その自転車安全基準に適合した自転車に貼りつけされます。

TSマーク
道路交通法令に定められた大きさ、構造、性能等の基準に適合した安全な普通自転車であることのしるしです。自転車安全整備士が点検整備した普通自転車に貼りつけします。

自転車安全利用五則 https://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku/bicycle/index.htm

Love&Safety おおむら

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology AIST

本パンフレットは、消費者庁平成25年度地方消費者行政活性化交付金の補助金により長崎県大村市、特定非営利活動法人Love&Safetyおおむら、独立行政法人産業技術総合研究所の協力で作成されました。

子ども安全メール from 消費者庁

登録はこちら！ 携帯電話で登録する

安全に自転車を乗りこなそう！

～最新のデータに基づく視点から～

消費者庁

安全に自転車を乗りこなそう！

自転車を安全に乗

自分の体格に合ったサイズの自転車に乗ろう！

自転車を安全に乗るためには、**定期的に点検し、体の成長や体格に合わせた調整**が不可欠です。
調整を自分で行うのが難しい場合は、自転車販売店に行きましょう。

ブレーキレバーの幅を自転車屋さんで調整してもらおう！

ブレーキレバーの幅が体に合わないと、**0.1秒もブレーキの反応速度が遅くなる**という結果が出ています。
自分の手の大きさに合わせて適切な幅に調整しましょう。

ヘルメットを正しくかぶろう！

自転車による事故では、頭部の損害が多く、**ヘルメットを着用することで、重症化を予防することが大切です。金沢大学**で行われた実験によると、ヘルメットを着用することによって**転倒時の衝撃を約60%も少なくできます。**

ヘルメットが目にかかったり、おでこが出過ぎたりするようなかぶりかたはやめましょう。あごにそをあてて、口をあけて開けたときに、ヘルメットが頭にしっかりフィットしていることを感じるように、あごのストラップはしっかり締めましょう。

※平成20年度に（独）産業技術総合研究所と協力し実施。